

# 車椅子5m駆動時間計測 (JSSC版)の紹介

日本シーティング・コンサルタント協会  
学術局

策定：2014年1月13日

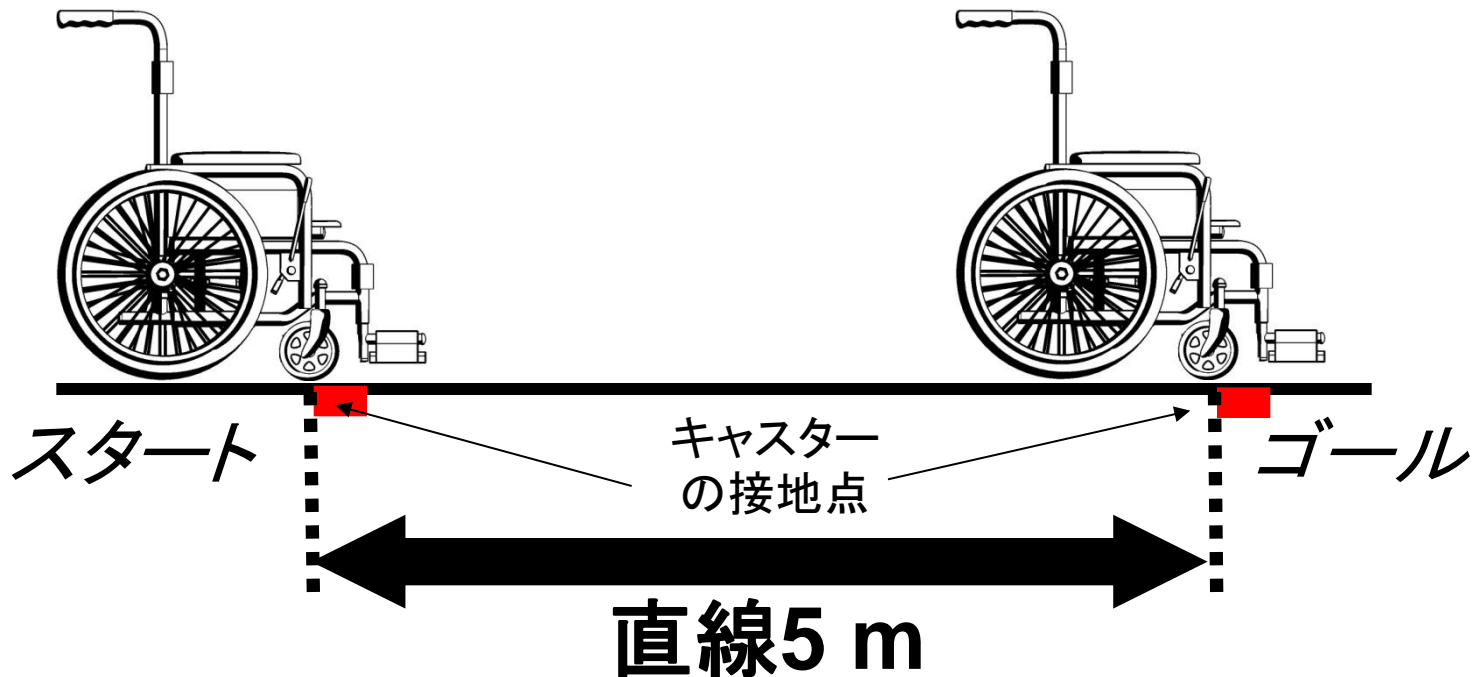
改訂：2015年1月25日

# 【はじめに】

- 車椅子駆動能力を評価する方法としては、FIM下位項目で15m駆動の可否<sup>1)</sup>、Wheelchair Skills Test<sup>2)3)</sup>で10m駆動の可否がある。
- 学術局では様々な疾患に対応できる車椅子駆動能力の評価方法として、5mの駆動時間を計測する手法を開発した<sup>4)</sup>。

# 【方法】

- スタートは静止した状態から行う。
- 被験者はできるだけ速く駆動する。
- 計測の目印はキャスターの接地点とする。



## 【注意点】

- 駆動能力が高い方の場合、スタート時の後方転倒に注意する。
- 計測前に被験者の能力に応じて練習や確認を行う。
- 計測は可能な限り複数回行い、最速値を採用する。

## 【おわりに】

発表（論文・学会など）において  
車椅子5m駆動時間計測（JSSC版）  
を使用した際は、その旨を明記して  
下さるようお願いいたします。

# 参考文献

- 1) 千野直一編著、里宇明元・他著：脳卒中患者の機能評価  
SIASとFIMの実際. シュプリンガー・ジャパン 1997
- 2) Kirby RL, et al : The wheelchair skills test (version 2.4):  
measurement properties. Arch Phys Med Rehabil. May;  
85(5):794-804. 2004
- 3) Fliess-Douer O, et al:A systematic review of wheelchair  
skills tests for manual wheelchair users with a spinal  
cord injury: towards a standardized outcome measure.  
Clin Rehabil. Oct;24(10):867-86. 2010
- 4) 森田智之・他：車椅子駆動能力評価方法の信頼性と日常生活活動自立度との関連の検討. リハビリテーション・エンジニアリング. 29(4):219-225. 2014